

第3次農林水産業元気再生戦略 目標指標の達成状況一覧(令和3年10月末現在)




資料2

【達成率集計:R1年】

	R1年			71.9%
	項目数	割合	判明分	
達成	61	44.2%	45.2%	71.9%
概ね達成	36	26.1%	26.7%	
遅れ・未達成	38	27.5%	28.1%	
計	135	97.8%		
未公表等	3	2.2%		

【達成率集計:R2年】

	R2年			70.7%
	項目数	割合	判明分	
達成	42	30.4%	42.4%	70.7%
概ね達成	28	20.3%	28.3%	
遅れ・未達成	29	21.0%	29.3%	
計	99	71.7%		
未公表等	39	28.3%		

＜達成度＞  
 達成(100%～) :   
 概ね達成(80～100%、かつ、策定時より上昇・改善) :   
 遅れ・未達成(80%未満、又は、策定時より低下・悪化) : 

No.	目標指標	単位	現状	(年)	H29年	H30年	R1年		R2年				目標	(年)	R2年の概況 (達成・未達成の理由)	
					実績	実績	目標	実績	達成率	達成度	目標	実績				達成率
基本戦略1 多様な人材が活躍できる農業経営の実現																
1	生産農業所得	億円	851	H26	1,225	1,080	1,080	1,061	98%	概ね達成	1,100	未公表		1,100	R2	農業産出額は、米は価格の低下、野菜・花きは作柄不良でやや減少したが、果樹は価格上昇により増加し、前年並み程度と見込まれる。経費に大幅な変動がないことから、目標は概ね達成の見込み。
2	新規就農者数(4年間の累計)	人	1,095	H24～27	309	653	1,040	1,001	96%	概ね達成	1,400	1,354	97%	概ね達成	H29～R2	新規就農者の確保・育成のため、短期農業体験やワンストップ相談窓口による各種相談の対応など動機付けから就農までのきめ細かな支援を行い、目標は概ね達成。
①人材の育成・確保																
3	女性農業者数(指導農業者+青年農業者)	人	34	H27	49	52	55	53	96%	概ね達成	60	60	100%	達成	R2	アグリウーマン塾の開催により女性農業者の経営力向上を支援するとともに、各地域において研修のフォローアップを行うなど、地域農業のリーダーとなる女性農業者の育成を図り、目標は達成。
4	農業協同組合の役員に占める女性の割合	%	7	H28	7.5	8.2	13	8.8	68%	遅れ・未達成	15	9.5	63%	遅れ・未達成	R2	各種会議や農協との対話等の機会を活用し、女性役員候補となる農業者の育成を働きかけたが、役員になることで負担が大きくなることや、家族の理解が得られないなどの理由から役員への就任は増えず、目標は未達成。
5	山形県農業労働力確保対策推進協議会の設置	—	—	H27	設置	設置	設置	設置	—	達成	設置	設置	—	達成	H29	平成29年度「山形県農業労働力確保対策推進協議会」と2つのワーキングチームを設置し、目標は達成。平成30年度以降、関係機関等と連携し、JAの無料職業紹介所やJAグループの求人サイトを活用したマッチングを実施。
6	無料職業紹介所設置JA数	JA	8	H27	9	10	13	10	77%	遅れ・未達成	15	10	67%	遅れ・未達成	R2	「山形県農業労働力確保対策実施協議会」の取組みの一環として、県内JAへの無料職業紹介所の設置を推進したが、令和2年度までの設置は10か所にとどまり、目標は未達成。
7	さくらんぼ主産地JA独自の労働力確保システム構築数	JA	1	H27	4	4	4	5	125%	達成	6	5	83%	概ね達成	R2	さくらんぼ主産地5地域において、JA無料職業紹介所の開設により独自の労働力確保システムが構築され、目標は概ね達成。
8	農業分野で障がい者就労に取り組む福祉施設の割合	%	15	H27	17.4	19.4	26	27	104%	達成	30	未公表		30	R2	障がい者施設職員、利用者を対象とした「農業体験会」の開催や庄内地域への農福連携推進員の配置、障がい者施設への農業専門家派遣などの取組みにより、目標は概ね達成の見込み。
②経営体育成支援																
9	トップランナー数	経営体	957	H27	—	—	—	—	—	—	2,000	1,978	99%	概ね達成	R2	経営発展に意欲的な経営体を対象にオーダーメイド型の支援やビジネスプラン策定に向けた専門家アドバイザー派遣等、農業経営相談所による農業者の経営の発展と経営力の向上の支援により、目標は概ね達成。
10	スーパートップランナー数※トップランナーの内数	経営体	128	H27	—	—	—	—	—	—	260	143	55%	遅れ・未達成	R2	経営発展に意欲的な経営体を対象に専門家アドバイザー派遣や高度な経営を学ぶ「やまがた農業経営塾」の開催等、農業者の経営の発展と経営力の向上の支援により、着実に増加しているものの目標は未達成。
11	販売金額1,000万円以上の家族経営体数	経営体	2,351	H27	3,000	3,100	3,500	3,200	91%	概ね達成	3,500	3,442	98%	概ね達成	R2	経営発展に意欲的な経営体を対象としたオーダーメイド型の支援等や、ビジネスプラン策定に向けた専門家アドバイザー派遣、高度な経営を学ぶ「やまがた農業経営実践塾」の開催等、農業者の経営の発展と経営力の向上に向けた支援により、目標は概ね達成。
12	販売金額3,000万円以上の組織経営体数	経営体	199	H27	484	484	500	515	103%	達成	550	632	115%	達成	R2	経営発展に意欲的な経営体を対象にオーダーメイド型の支援等や、ビジネスプラン策定に向けた専門家アドバイザー派遣、高度な経営を学ぶ「やまがた農業経営実践塾」の開催等、農業者の経営の発展と経営力の向上の支援により、目標は達成。
13	農業法人数(認定農業者)	法人	401	H27	484	515	700	552	79%	遅れ・未達成	800	590	74%	遅れ・未達成	R2	認定農業者の認定促進に向け、山形県認定農業者協議会と連携し、農業経営改善の研修や認定農業者の相互交流等の取組みを行った。法人数は増加したが、高齢化等による規模縮小により想定より件数が伸びず、目標は未達成。
14	山形県認定農業者協議会の設置	—	—	—	設置	設置	設置	設置	—	達成	設置	設置	—	達成	H29	平成29年に山形県認定農業者協議会を設置し、目標は達成。設立後は、経営発展に向けた研修会を開催するなど、自主的な運営を展開。
15	全国農業担い手サミットの開催	—	—	—	準備	開催	—	—	—	達成	—	—	—	達成	H30	平成30年度に全国農業担い手サミットを盛大に開催し、本県農業者の活躍を全国に発信するとともに、担い手同士の交流、研修を実施。目標は達成。
16	担い手への農地集積率	%	60.2	H27	64.8	66.0	74.0	66.4	90%	概ね達成	78.0	67.5	87%	概ね達成	R2	令和元年度に設置した「山形県農地集積・集約化推進会議」、県内4地域の「地域支援チーム」により、市町村の抱える課題、進捗状況の共有を図るなど、人・農地プランの実質化を契機とした農地集積・集約化に向けた取組みを推進し、目標は概ね達成。

No.	目標指標	単位	現状	(年)	H29年	H30年	R1年				R2年				目標	(年)	R2年の概況 (達成・未達成の理由)
					実績	実績	目標	実績	達成率	達成度	目標	実績	達成率	達成度			
17	農地中間管理機構を活用した新規集積面積(累計)	ha	2,146	H27	3,803	4,454	5,270	5,372	102%	達成	6,050	5,789	96%	概ね達成	6,050	R2	農地中間管理事業の活用による農地転賃について、新聞広告や全農家へのチラシ配布等により周知するとともに、機構集積協力のPRや県内の優良事例紹介により農地の集積・集約を促進し、目標は概ね達成。
18	県農業情報サイト「あぐりん」への訪問者数	件	645,000	H27	1,254,000	1,359,049	1,350,000	1,433,647	106%	達成	1,400,000	1,562,145	112%	達成	1,400,000	R2	「やまがたアグリネット」の利用について、ラジオ「農業一ロメ」、農家全戸配布の「普及だより」、農業高校での出前授業等により紹介するとともに、各作物ごとのタイムリーな技術情報掲載や、あぐりんFacebookによる情報発信に取り組み、目標は達成。
19	収入保険制度の加入の前提となる青色申告承認者数	人	9,643	H27	10,475	10,676	12,150	10,685	88%	概ね達成	13,000	10,772	83%	概ね達成	13,000	R2	加入の前提となる青色申告承認者数を増やすため、青色申告研修会を開催するとともに、青色申告を行うおと考えている農業者等を対象とした税理士による青色申告個別相談会を実施し、目標は概ね達成。
20	県内における「スマート農業」の取組件数(累計)	件	23	H29	23	42	60	77	128%	達成	90	99	110%	達成	90	R2	研修会や技術実証を通してスマート技術の利便性が共有され、とくに水稲の農作業管理や園芸部門の環境モニタリング、畜産部門の分娩監視において技術導入が進んだことにより目標は達成。
③地域活性化																	
21	中山間地域の農地保全取組面積	ha	7,853	H27	8,284	8,318	8,211	8,516	104%	達成	8,300	8,434	102%	達成	8,300	R2	協定農用地の将来像を示す集落戦略の策定に向けた地域の話し合いへの支援や、農地の管理省力化に向けたスマート農業機材の導入への支援等、農地保全取組面積の維持・拡大に向けた取組みを実施し、目標は達成。
22	中山間地域における農地中間管理機構を活用した新たな貸付面積	ha	573	H27	668	581	580	516	89%	概ね達成	580	625	108%	達成	580	R2	中山間地域における農地の集積・集約化を促進するよう、中山間地域での交付単価が高い機構集積協力の活用をPRするなど、農地中間管理事業を活用した農地転賃を行い、目標は達成。
23	県の支援により活力ある地域づくりの実践に取り組む件数(H26からの累計)	件	7	H27	13	16	23	24	104%	達成	27	27	100%	達成	27	R2	元気な地域づくり支援プロジェクトによるケーススタディ(5地区)の実施や地域づくりワークショップ(4地区)を開催し、地域の合意形成や計画づくり、計画に基づく目標の具現化に向けた支援により、目標は達成。
24	鳥獣による農作物被害金額	百万円	581	H27	573	510	490	464	106%	達成	440	482 【速報値】	91%	概ね達成	440	R2	侵入防止柵の設置、バトロール、追い払い及び捕獲等を組み合わせた、住民主体の集落単位による鳥獣被害対策ができるよう、市町村と連携した支援を行い、被害対策が普及したことにより目標は概ね達成の見込み。
25	小水力発電出力の合計(H29～32の累計)	kW	1,400	H28	1,450	1,648	1,670	1,648	99%	概ね達成	1,700	1,648	97%	概ね達成	1,700	R2	民間発電事業者による農業水利施設を活用した小水力発電施設の導入を促進するため、施設整備に関する関係機関との調整等、民間発電事業者と施設を管理する土地改良区に対するマッチング支援を行い、目標は概ね達成。
26	温泉熱活用事例数(案件)	件	3	H28	3	4	3	4	133%	達成	6	6	100%	達成	6	R2	温泉熱を活用した取組みの事業化について検討を進めている団体に対して、他の取組み事例の情報提供を行うなど、適宜市町村等関係機関と連携した支援を行い、目標は達成。
27	木質バイオマス供給量	千t	34	H27	118	120	104	201	193%	達成	106	234	221%	達成	106	R2	効率的な木材生産に資する高性能林業機械の導入支援を行うとともに、木質バイオマス施設用低質材(C・D材)の搬出に対する支援を実施し、目標は達成。
基本戦略2 水田農業の収益性の向上																	
28	米による産出額	億円	668	H26	850	835	930	898	97%	概ね達成	930	未公表			930	R2	高品質・良食味米の安定生産を推進しながら、関係機関と連携した県産米の評価向上と販売・PR活動を展開したことで、目標は概ね達成する見込み。
①土地利用型作物																	
29	「つや姫」の価格ポジション	—	魚沼産コシヒカリに次ぐ	H28	魚沼産コシヒカリに次ぐ	魚沼産コシヒカリに次ぐ	魚沼産コシヒカリに次ぐ	魚沼産コシヒカリに次ぐ	—	達成	魚沼産コシヒカリに次ぐ	魚沼産コシヒカリに次ぐ	—	達成	魚沼産コシヒカリに次ぐ	R2	高品質・良食味米の安定生産を図りながら、三大都市圏における高級感のあるテレビCMの放映や飲食店と連携したキャンペーン等、トップブランド米としての評価確立に向けた販促・PR活動を展開することで、目標は達成。
30	「雪若丸」の作付面積	ha	10 (試験栽培)	H28	76	1,709	2,700	2,704	100%	達成	2,700	3,543	131%	達成	販売動向により判断	R2	高品質・良食味米の生産と適正な収量の確保を推進するとともに、テレビCMの制作・放映、テレビCMと一体的なプロモーションの展開により県内外での認知度向上を図るとともに、販売動向を見極めた作付け誘導を実施し、目標は達成。
31	県農業再生協議会で設定した「生産の目安」達成率	%	100	H28	100	100	100	100	100%	達成	100	100	100%	達成	100	R2	「需要に応じた米生産に関するWG会議」等で各地域農業再生協議会や関係機関、外部有識者の意見を参考に、「生産の目安」を決定するとともに、各地域農業再生協議会及び関係機関が協力して「生産の目安」に沿った米の生産を推進したことで、目標は達成。
32	大豆の収穫量	t	7,560	H27	7,440	6,410	7,900	7,670	97%	概ね達成	8,000	5,550	69%	遅れ・未達成	8,000	R2	県内8か所に収量・品質向上のための実証ほを設置するとともに、生産者向けに「大豆だより」等による技術情報の提供等を行ったが、目標は未達成。
33	新品種(「里のほほえみ」「シュウリュウ」)の作付面積	ha	1,817	H27	2,582	2,837	3,500	2,654	76%	遅れ・未達成	4,100	2,651	65%	遅れ・未達成	4,100	R2	県内8か所に展示ほを設置しながら作付拡大を推進したが、依然として実需者の既存品種に対するニーズ等もあり、品種転換が進まず、目標は未達成。
34	そばの収穫量	t	1,620	H27	1,580	1,610	2,150	2,580	120%	達成	2,200	2,180	99%	概ね達成	2,200	R2	県内8か所に高収量・高品質安定化対策実証ほを設置しながら技術指導を実施し、目標は概ね達成。
②生産基盤																	
35	担い手の米の生産コスト(基盤整備実施地区)	億円/年	22	H27	17	16	15	15	100%	達成	13	15	87%	概ね達成	13	R2	生産コスト削減に向けた効率的な営農を可能とするほ場の大区画化や排水路の地中管路化などの基盤整備を実施し、目標は概ね達成。
36	大区画ほ場整備面積(累計)	ha	3,160	H27	3,438	3,560	3,830	3,750	98%	概ね達成	4,000	3,934	98%	概ね達成	4,000	R2	令和2年度に実施した区画整理工事のうち、約70%を大区画ほ場として整備し、目標は概ね達成。
37	水稲直播栽培面積	ha	2,360	H28	2,614	2,695	3,400	2,732	80%	概ね達成	3,500	2,753	79%	遅れ・未達成	3,500	R2	県内14か所に実証展示ほを設置するとともに、「直播栽培マニュアル」を作成し、これに基づく普及拡大推進したが、目標は未達成。

No.	目標指標	単位	現状	(年)	H29年	H30年	R1年				R2年				目標	(年)	R2年の概況 (達成・未達成の理由)
					実績	実績	目標	実績	達成率	達成度	目標	実績	達成率	達成度			
38	基幹水利施設における保全計画策定か所数	か所	330	H28	342	375	393	416	106%	達成	418	460	110%	達成	418	R2	基幹的農業水利施設の保全計画の策定、計画に基づく適時・適切な補修・更新の実施により、目標は達成。
基本戦略3「園芸大国やまがた」の実現																	
39	園芸作物による産出額	億円	1,090	H26	1,212	1,269	1,270	1,268	99.8%	概ね達成	1,300	未公表			1,300	R2	果樹及び野菜ともに生産量は前年より減少したが、単価が良好であったことから、目標は概ね達成の見込み。
40	果樹産出額	億円	656	H26	719	723	705	733	104%	達成	710	未公表			710	R2	生産量は、さくらんぼは前年より多かつたが、ぶどう、ももなどでは少なかった。単価は全般に前年並からやや高く経過したため、目標は達成の見込み。
41	野菜産出額	億円	364	H26	421	477	478	466	97%	概ね達成	500	未公表			500	R2	天候不順の影響で生産量が前年より減少した品目が多かつたが、単価は前年より高い見込みであり、目標は概ね達成の見込み。
42	花き産出額	億円	70	H26	72	69	87	69	79%	遅れ・未達成	90	未公表			90	R2	緊急事態宣言の発令に伴い、3～4月の出荷自粛が見られ、出荷量が前年よりやや減少したため、目標は未達成の見込み。
①果樹																	
43	さくらんぼ収穫量	t	13,200	H27	14,500	14,200	14,200	11,900	84%	遅れ・未達成	14,300	13,000	91%	遅れ・未達成	14,300	R2	開花期の天候不順により結実数がやや少なく、5月中の高温により全般に小玉傾向となったことに加え、露地では6月上旬の降雪被害、降雨日の連続による裂果の発生などにより収量が伸びず、目標は未達成。
44	さくらんぼ産出額	億円	332	H26	368	374	343	362	106%	達成	345	未公表			345	R2	収穫量は目標を下回ったものの、高品質生産・厳選出荷の取組みが定着してきており、単価は前年に次ぐ高単価となったことから、目標は達成の見込み。
45	さくらんぼ大玉品種の開発	—	—	—	1品種登録出願	—	1品種登録	1品種登録	—	達成	—	—	—	達成	1品種登録	R1	さくらんぼ大玉品種「山形C12号(商標・やまがた紅玉)」は、平成29年9月に品種登録出願し、令和2年3月に品種登録された。目標は達成。
46	西洋なし産出額	億円	50	H26	57	56	59	59	100%	達成	60	未公表			60	R2	生産量は前年並であったものの、プロジェクトにおける高品質安定生産の取組み等により単価は前年を上回ったことから、目標は達成の見込み。
47	「ラ・フランス」単価	円/kg	311	H27	334	335	330	321	97%	概ね達成	340	373	110%	達成	340	R2	「販売開始基準日」の設定や食味重視の生産・出荷の推進等により、市場での評価や消費者からの認知度等が高まってきており、目標は達成。
48	りんご産出額	億円	114	H26	108	98	119	102	86%	遅れ・未達成	120	未公表			120	R2	黒星病対策の徹底等による品質向上と収穫量の確保により、目標は概ね達成の見込み。
49	一元販売品種数	品種	2	H27	2	2	4	2	50%	遅れ・未達成	4	2	50%	遅れ・未達成	4	R2	品種数が多い中生品種の絞込み等オール山形での取組みに向けた検討会を開催したものの、一元販売品種は「ファーストレディ」及び「秋陽」の2品種にとどまったため、目標は未達成。
50	ぶどう産出額	億円	91	H26	111	118	114	123	108%	達成	115	未公表			115	R2	「デラウェア」の裂果等により収穫量はやや減少したものの、「シャインマスカット」等大粒種の品質が良好であり、単価が前年を上回ったことから、目標は達成の見込み。
51	「シャインマスカット」栽培面積	ha	87	H26	155	174	140	未公表			150	未公表			150	R2	シャインマスカットプロジェクト会議により、栽培経験の浅い生産者向けの技術指導を強化しながら、更なる面積の拡大を推進し、目標達成の見込み。
52	もも産出額	億円	26	H26	29	31	33	38	115%	達成	34	未公表			34	R2	生産量はやや減少したものの、気象変動に対応した高品質生産の技術指導等により単価は前年を大きく上回ったことから、目標は達成の見込み。
53	もも立枯れ発生割合	%	15	H27	7%	10.8	7%以内	1%以内	—	達成	5%以内	1.3	—	達成	5%以内	R2	暖冬であったことに加え、立枯れ対策技術の実証展示、立枯れ対策研修会及びハイブリッド仕立て研修会の開催により、立枯れしにくい栽培管理を推進しており、目標は達成。
54	かき平均単価	円/kg	158	H27	167	199	170	207	122%	達成	175	224	128%	達成	175	R2	「大玉生産マニュアル」や「庄内柿産地活性化フォーラム」などにより、大玉生産の取組みが定着し、目標は達成。
55	日本なし平均単価	円/kg	214	H27	226	268	240	249	104%	達成	240	389	162%	達成	240	R2	数量が少なかったことに加え、大玉生産技術の普及や市場評価の高い品種の導入推進により、目標は達成。
②野菜																	
56	えだまめ産出額	億円	30	H26	40	45	51	48	94%	概ね達成	52	未公表			52	R2	天候不順の影響で生産量は前年より減少したものの、高品質安定生産対策や鮮度保持対策に取り組み、単価が高く推移したことから、目標は概ね達成の見込み。
57	えだまめ単価	円/kg	478	H26	687	748	685	797	116%	達成	690	未公表			690	R2	高品質安定生産対策や鮮度保持対策に取り組み、単価が高く推移したことから、目標は達成の見込み。
58	すいか産出額	億円	44	H26	58	62	56	58	104%	達成	58	未公表			58	R2	天候不順の影響で生産量は前年より減少したものの、研修会の開催、選果・選別の徹底等により高品質化を図り、単価は前年より高い見込みであり、目標は達成の見込み。

No.	目標指標	単位	現状	(年)	H29年	H30年	R1年				R2年				目標	(年)	R2年の概況 (達成・未達成の理由)
					実績	実績	目標	実績	達成率	達成度	目標	実績	達成率	達成度			
59	すいか単価	円/kg	130	H26	180	191	155	186	120%	達成	160	未公表			160	R2	研修会の開催、選果・選別の徹底等により高品質生産が図られ、前年度よりも単価は高値で推移したため、目標は達成の見込み。
60	トマト産出額	億円	36	H26	40	45	40	51	128%	達成	43	未公表			43	R2	天候不順の影響で生産量は前年よりやや減少したものの、研修会等により高品質化を図り、単価は前年よりやや高い見込みであり、目標は概ね達成の見込み。
61	トマト生産量	t	11,000	H26	11,000	10,200	11,800	11,300	96%	概ね達成	12,300	10,200	83%	遅れ・未達成	12,300	R2	研修会等の開催により安定生産を推進したものの、天候不順の影響で生産量が減少し、目標は未達成。
62	土地利用型野菜(アスパラガス、にら、ねぎ)産出額	億円	41	H26	54	71	61	68	111%	達成	64	未公表			64	R2	天候不順の影響で生産量が減少した品目もあったが、研修会等により高品質化を図り、単価は前年より高い見込みであり、目標は達成の見込み。
63	土地利用型野菜(アスパラガス、にら、ねぎ)作付面積	ha	991	H26	1,015	1,006	1,090	1,002	92%	概ね達成	1,100	999	91%	概ね達成	1,100	R2	高齢化による離農者も見られる中、大規模化のための情報提供や新規栽培者の栽培技術向上支援など、作付面積向上への誘導を図っており、目標は概ね達成。
64	メロン産出額	億円	29	H26	33	41	35	39	111%	達成	36	未公表			36	R2	作付面積がやや減少したものの、安定生産の取組みが定着し、単価が高く推移したことから、目標は達成の見込み。
65	メロン単価	円/kg	230	H26	320	373	250	348	139%	達成	255	未公表			255	R2	安定生産の取組みや計画出荷が定着し、また、選果・選別も徹底されてきており、近年は高値で推移しているため、目標は達成の見込み。
66	きゅうり産出額	億円	35	H26	32	41	38	32	84%	遅れ・未達成	39	未公表			39	R2	天候不順の影響で生産量は前年よりやや減少したものの、研修会等により高品質化を図り、単価は前年よりやや高い見込みであり、目標は概ね達成の見込み。
67	地域特産野菜(セルリー、なす)産出額	億円	20.5	H26	19	23	25.5	22	86%	概ね達成	26.8	未公表			26.8	R2	天候不順の影響で生産量は減少したものの、研修会等により高品質化を図り、単価は前年より高い見込みであり、目標は概ね達成の見込み。
68	山形県に適応した次世代型施設の実証か所数	か所	0	H27	2	—	—	—	—	達成	—	—	—	達成	2	H29	平成29年度に園芸農業研究所に実証拠点を2か所設置し、目標は達成。令和2年度は、実証拠点を活用した現地研修会を1回開催するとともに成果集を作成。
69	山形県に適応した次世代型施設園芸の拠点数	か所	0	H27	2	2	4	3	75%	遅れ・未達成	5	4	80%	概ね達成	5	R2	研修会等の開催により生産者の意識啓発が図られ、ICT環境モニタリング装置、ハウスサイド換気用の自動巻取り装置、ミスト発生装置等を導入した次世代型施設園芸の拠点数が増加し、目標は概ね達成。
③花き																	
70	露地花き(りんどう、さくら「啓翁桜」、ダリア等)の産出額	億円	6.5	H26	6.8	6.7	14	7	50%	遅れ・未達成	15	未公表			15	R2	りんどうやさくら「啓翁桜」では作付面積が年々増加しているものの、出荷まで年数がかかり、出荷量の大幅な増加には至らず、目標は未達成の見込み。
71	露地花き(りんどう、さくら「啓翁桜」、ダリア等)の作付面積	ha	259	H26	290	293	300	305	102%	達成	320	未公表			320	R2	団地化の支援や省力化技術の導入等により、りんどう、さくら「啓翁桜」では作付面積が増加しており、目標は概ね達成の見込み。
72	施設花き(ばら、アルストロメリア、トルコギキョウ、ストック)産出額	億円	32	H26	34	31	37	31	84%	遅れ・未達成	38	未公表			38	R2	緊急事態宣言の発令に伴い、令和2年3月から4月の出荷自粛が見られ、出荷量が前年よりやや減少したため、目標は未達成の見込み。
④園芸産地の基盤強化																	
73	新たな大規模集積園芸団地数	団地	—	—	6	12	15	17	113%	達成	20	20	100%	達成	20	R2	平成29年度から各総合支庁に園芸団地化推進員を配置するとともに、取組地区ごとに園芸団地化支援チームを設置して支援を実施したことにより、令和2年度までに大規模園芸団地の整備に着手した地区は20地区となり、目標は達成。
74	高収益作物(園芸作物等)生産額	億円/年	10	H27	12.4	14.3	17.5	18.4	105%	達成	20	20.2	101%	達成	20	R2	基盤整備地区において、関係機関と連携した研修会を開催して高収益作物の導入を進めるとともに、栽培の実証展示、技術指導を行うことで作付拡大と生産の安定化を図り、目標は達成。
75	園芸作物導入を加速化するための水田畑地整備面積(累計)	ha	950	H27	1,708	2,327	1,750	2,580	147%	達成	2,800	2,798	99.9%	概ね達成	2,800	R2	高収益作物(園芸作物等)への転換を後押しする排水改良や地下かんがい導入等の水田の畑地化・汎用化による基盤整備を支援し、目標は概ね達成。
基本戦略4 県産農林水産物の魅力の向上と販売促進																	
76	食料品製造業の製造品出荷額等	億円	3,011	H26	3,361	3,293	4,500	3,273	73%	遅れ・未達成	4,500	未公表			4,500	R2	やまがた食産業クラスター協議会におけるコーディネート活動や専門家派遣により、県内食品製造業者等による商品開発・販路開拓を支援したが、新型コロナウイルス感染症の影響により目標は下回る見込み。
①6次産業化																	
77	産地直売所販売額	億円	93	H27	108.4	117.3	122	118.4	97%	概ね達成	130	123.8	95%	概ね達成	130	R2	県内直売所の特徴や魅力のほか、伝統野菜を含めた県産農林水産物について積極的にPRを実施するとともに、直売所向けに、売上増加のための販売戦略やHACCPについての衛生管理等の研修会を実施し、目標は概ね達成。
78	農産加工所販売額	億円	30.5	H27	31.6	31.6	34	36.7	108%	達成	35	35.5	101%	達成	35	R2	山形6次産業化サポートセンター等関係機関と連携し、農林漁業者の6次産業化の芽出しから事業化、商品化、販路拡大まで取組段階に応じたきめ細かい助言、支援を実施し、目標は達成。
79	食品製造業等における県産農林水産物の使用割合(重量ベース)	%	38.3	H27	40.1	40.5	42.0	40.7	97%	概ね達成	43.0	41.4	96%	概ね達成	43.0	R2	県内産地・農林水産業と食品製造業者に関する情報収集・分析を行い、マッチングに向けた産地・企業情報のデータベースを構築するとともにマッチング機能を強化し、目標は概ね達成。



No.	目標指標	単位	現状	(年)	H29年	H30年	R1年				R2年				目標	(年)	R2年の概況 (達成・未達成の理由)
					実績	実績	目標	実績	達成率	達成度	目標	実績	達成率	達成度			
80	全国の食料品製造業における本県の食料品製造業の製造品出荷額等の割合	%	1.2	H26	1.2	1.1	1.9	1.1	58%	遅れ・未達成	1.9	未公表			1.9	R2	やまがた食産業クラスター協議会におけるコーディネート活動や専門家の活動により、県内食品製造業者等による商品開発・販路開拓を支援した。新型コロナウイルス感染症の影響を受けるものの全国の製造品出荷額は増加傾向にあるため、目標は下回る見込み。
81	市町村等における新たなアグリランド構想の策定数(H29からの累計)	か所	—	—	0	0	4	1	25%	遅れ・未達成	8	1	13%	遅れ・未達成	1	R2	元氣な地域づくり支援プロジェクトにおけるケーススタディにより、1地区のアグリランド構想が令和元年度に策定されたものの、2年度は策定は無く、目標は未達成。
82	市町村が参画する6次産業化ネットワーク数	件	26	H28	29	33	—	34	—	概ね達成	—	—	—	概ね達成	35	H30	地域の6次産業化の推進状況や課題の把握、今後の展開方向等について共有するため、市町村担当者との意見交換を実施。6次産業化ネットワーク未形成の市町村への働きかけにより34市町村がネットワークを形成し、目標は概ね達成。
83	グリーン・ツーリズム交流人口	万人	949	H27	985	1,020	1,150	1,050	91%	概ね達成	1,200	1,005	84%	概ね達成	1,200	R2	農家民宿・農家レストラン等を担う人材育成研修会等を実施し、地域の受け入れ態勢づくりを推進。新型コロナウイルス感染症による全国的な行動制限の影響を受けたものの、目標は概ね達成。
84	農業総合研究センター加工施設を活用した新商品販売件数(累計)	件	—	—	0	3	20	34	170%	達成	40	50	125%	達成	40	R2	新商品開発や加工技術、衛生管理に関する相談、研修会を通して、食品加工支援ラボを活用した新商品開発件数が増加し、目標は達成。
②流通販売・食文化発信																	
85	おいしい山形ホームページへのアクセス数(延べ閲覧者数)	件	3,178,776	H27	3,327,313	2,860,418	4,220,000	2,754,116	65%	遅れ・未達成	4,500,000	3,897,387	87%	概ね達成	4,500,000	R2	SNSの普及により、生産者や産直など個別の情報発信の増加により閲覧数が伸び悩んでいたが、新型コロナウイルスの影響に対応するため実施した消費拡大キャンペーンの告知等に併い閲覧者数は大幅に増加し、目標は概ね達成。
86	多言語ホームページへのアクセス数(延べ閲覧者数)	件	12,000	H28(見込)	9,731	6,014	21,000	5,642	27%	遅れ・未達成	24,000	9,059	38%	遅れ・未達成	24,000	R2	ページの作り込みで費用と時間を要し、適時の情報掲載ができないことから、目標は未達成。
87	東京都中央卸売市場における県産農産物の取扱金額割合	%	野菜:1.28	H27	1.20	1.28	1.37	1.38	101%	概ね達成	1.4	1.35	96%	概ね達成	野菜:1.40	R2	東京事務所に配置しているマッチング支援アドバイザー等による産地情報の提供、消費地情報の収集や、首都圏における商談会の開催等によるマッチング支援を行い、全体として概ね達成。
			果実:5.64	H27	5.43	5.22	5.76	5.13	89%		5.8	5.18	89%		果実:5.80	R2	
88	主要都市の中央卸売市場における県産農産物(野菜・果実)の取扱金額	百万円	5,562	H27	5,799	5,678	5,992	5,072	85%	遅れ・未達成	6,100	5,222	86%	遅れ・未達成	6,100	R2	本県主力のさくらんぼについて、新型コロナウイルスの感染拡大による百貨店の休業等の影響を受けたが、前年より入荷数量が増加したことにより取扱金額が増加した。また、その他の果実の取扱金額も総じて増加したものの、目標は未達成。
89	東京都中央卸売市場におけるトップブランド品目数	品目	13	H26	6	14	18	15	83%	概ね達成	20	15	75%	遅れ・未達成	20	R2	さくらんぼや「つや姫」などに続く「日本一ブランド」の創生に向け、伝統野菜の評価・認知度向上や地理的表示(GI)の登録促進の取組みを展開したものの、目標は未達成。
90	地理的表示(GI)保護制度登録件数(県産農林水産物及びその加工品)(累計)	件	0	H28	3	4	4	4	100%	達成	5	5	100%	達成	5	R2	「GIワーキング会議」を開催し情報の共有を図るとともに、市町村やJA担当者等を対象とした「地理的表示(GI)保護制度セミナー」を開催を通して、目標は達成。
91	学校給食における県産農林水産物の使用割合	%	45	H27	45.8	45.1	53	44.7	84%	遅れ・未達成	55	46.4	84%	概ね達成	55	R2	天候不順等の理由により利用が低下したものの、各市町村の学校給食における県産農林水産物や郷土料理の提供等を支援したことにより産地消に対する取組みが浸透し、目標を概ね達成した。
92	県産農産物輸出量	t	987	H27	1,128	1,507	1,200	1,650	138%	達成	1,300	1,319	101%	達成	1,300	R2	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により米の業務用需要が低迷し、輸出量が前年度より減少したものの、現地パートナー等の協力のもと、山形県国際経済振興機構を核とし、県産果実等の販売プロモーションを実施したことで、果実等の輸出量は維持し、目標は達成。
93	国別アクションプラン策定数(累計)	件	0	H27	3	6	7	8	114%	達成	8	8	100%	達成	8	R2	令和元年度に中国・香港のアクションプランを策定し、前倒して目標は達成。国別輸出アクションプランを活用し、新規輸出取組の掘り起しを実施した。
③環境農業																	
94	環境保全型農業直接支払交付金取組面積	ha	7,561	H27	7,584	6,271	10,200	6,254	61%	遅れ・未達成	11,000	6,184	56%	遅れ・未達成	11,000	R2	平成27年度以降横ばいとなり、平成30年度は複数取組廃止等、制度の変更により面積が減少し、目標は未達成。
95	有機農業の取組面積	ha	696	H27	708	602	931	609	65%	遅れ・未達成	990	626	63%	遅れ・未達成	990	R2	有機農業オープンフィールドによる農業者研修等による有機農業の取組拡大や、大消費地での商談会出店支援など販路拡大の取組みを支援したものの、平成24年度をピークに横ばいのため、目標は未達成。
96	県産農産物の食品衛生法違反件数	件	0	H27	1	0	0	0	100%	達成	0	0	100%	達成	0	R2	農業適正使用チラシの配布及びやまがた農産物安全・安心取組認証制度における出荷前分析等により、収去検査による基準値超過は未発生。また、放射性物質の基準値超過も未発生であり、目標は達成。
97	「山形県版GAP」に取り組み農家割合	%	15.7	H28	35.0	35.0	45.0	32.0	71%	遅れ・未達成	50.0	32.0	64%	遅れ・未達成	50.0	R2	やまがた農産物安全・安心取組認証制度において、県版GAPの普及に取り組んだものの、認証農家数は増加せず、目標は未達成。
98	国際水準GAP認証農場数	農場	33	H28	46	57	48	75	156%	達成	66	76	115%	達成	66	R2	平成30年度に県版GAP認証を取得した10団体を個別訪問し、国際水準GAP取得及び県版GAPの維持等の意向について聞き取りを行うとともに、国際水準GAP認証取得に取り組み生産者に対する技術的支援・助言等を実施し、目標は達成。
基本戦略5 畜産業の競争力強化																	
99	畜産による産出額	億円	447	H26	472	472	495	481	97%	概ね達成	500	未公表			500	R2	国補助事業及び県単独事業を活用した規模拡大に向けた施設整備や省力化・生産性向上のための機械導入を支援し、目標は概ね達成の見込み。

No.	目標指標	単位	現状	(年)	H29年	H30年	R1年				R2年				目標	(年)	R2年の概況 (達成・未達成の理由)
					実績	実績	目標	実績	達成率	達成度	目標	実績	達成率	達成度			
<b>①畜産生産</b>																	
100	肉用牛産出額	億円	110	H26	114	122	141	122	87%	概ね達成	142	未公表		142	R2	本県肉用牛関係者が一堂に会した「令和元年度やまがたの和牛増頭振興大会」を開催し、その後、更なる和牛増頭及び高品質な肉用牛生産のため、生産者や関係機関が一丸となって取り組んできた結果、目標は概ね達成の見込み。	
101	繁殖雌牛頭数	頭	6,140	H27	6,720	7,220	7,250	7,690	106%	達成	7,500	7,580	101%	達成	R2	和牛子牛の増産を図るため、巡回指導や繁殖雌牛の増頭を支援するとともに、ICT技術(分娩・発情予知通知システム)導入による生産性向上の実証や和牛子牛増産に向け乳用牛への和牛受精卵の移植の実証などにより、目標は達成。	
102	乳用牛産出額	億円	81	H26	89	87	92	87	95%	概ね達成	93	未公表		93	R2	国補助事業及び県単独事業を活用して規模拡大に向けた施設整備や省力化・生産性向上のための機械導入を支援しており、酪農家の減少等で産出額の減少が見込まれるものの、目標は概ね達成の見込み。	
103	経産牛1頭当たり生乳生産量	kg	7,254	H23~27	7,758	7,791	7,600	7,578	100%	達成	7,700	7,162	93%	遅れ・未達成	R2	酪農家が行う牛群検定の取組みを関係機関と連携して進める等、支援を実施したものの、目標は未達成。	
104	豚産出額	億円	128	H26	120	117	169	127	75%	遅れ・未達成	172	未公表		172	R2	品質の高い県産豚肉の生産拡大を図るため、畜舎等の生産基盤の整備支援、優秀な種雄豚の人工授精用精液の供給、山形県産豚肉銘柄推進協議会による販路の拡大を図り、目標は概ね達成の見込み。	
105	豚枝肉上物率	%	46	H23~27	48.4	48.4	49	49.0	100%	達成	50	50.2	100%	達成	R2	高能力種豚の導入、生産性の向上、適性体重出荷等により上物率が上昇した結果、目標は達成。	
106	鶏産出額	億円	34	H26	40	33	41	32	78%	遅れ・未達成	42	未公表		42	R2	畜産クラスター事業(国庫補助事業)により、鶏肉加工施設の整備を支援したものの、一部の農場の廃業に伴う飼育羽数の減少により、目標は未達成の見込み。	
107	やまがた地鶏飼養羽数	羽	16,000	H27	15,800	8,900	19,200	6,200	32%	遅れ・未達成	20,000	5,100	26%	遅れ・未達成	R2	やまがた地鶏振興協会との連携による各種イベントでのPRや、販売店・飲食店等でのパンフレット配布による情報発信を行ったものの、飼育者及び飼育羽数の減少により、目標は未達成。	
108	畜産農家等の新たな畜産加工食品の開発件数(H29~R2の累計)	件	6	H27	3	6	9	9	100%	達成	12	12	100%	達成	R2	関係団体等との連携や県単独事業を活用して新たな加工品の開発を支援したことにより、目標は達成。	
<b>②耕畜連携・自給飼料</b>																	
109	飼料作物の作付面積(飼料用米含む)	ha	10,333	H27	10,200	10,170	11,020	10,070	91%	遅れ・未達成	11,200	9,750	87%	遅れ・未達成	R2	国補助事業や県単独事業により自給飼料生産・調製機械等の整備に対し支援するとともに、稲VCS等水田を活用した飼料の生産と利用を拡大するための研修会等を実施したものの、飼料用米の作付け面積が減少傾向にあり、目標は未達成。	
110	県内飼料生産・利用のための耕畜連携組織数	組織	66	H27	70	71	73	71	97%	概ね達成	75	74	99%	概ね達成	R2	畜産農家と耕種農家の連携を図るため、モデル組織を育成するとともに、稲VCSや実用とうもろこしの栽培実証圃と給与実証農場を設け、効果について検討してきた結果、目標は概ね達成。	
<b>基本戦略6 「やまがた森林ノミクス」の推進</b>																	
111	林業による産出額	億円	86	H26	117	126	144	127	88%	概ね達成	155	未公表		155	R2	川上対策として県産木材の安定供給・再造林の推進、川中対策として県産木材の加工流通体制の強化、川下対策として県産木材の率先利用を推進するなど、川上から川下まで総合的な対策を実施し、目標は概ね達成の見込み。	
112	木材(素材)生産量	万m <sup>3</sup>	36	H27	49	50.5	57	53.5	94%	概ね達成	60	54.9【速報値】	92%	概ね達成	R2	川上対策として県産木材の安定供給・再造林の推進、川中対策として県産木材の加工流通体制の強化、川下対策として県産木材の率先利用を推進するなど、川上から川下まで総合的な対策を実施し、目標は概ね達成の見込み。	
<b>①人材育成</b>																	
113	林業の新規就業者数(4年間の累計)	人	222	H24~27	63	123	200	189	95%	概ね達成	270	237	88%	概ね達成	H29~R2	農林大学校林業経営学科で林業関係への就業を希望する学生に「緑の青年就業準備給付金」を給付するとともに、林業への新規就業希望者を対象にした講習会や、就業ガイダンスを開催し、目標は概ね達成。	
114	森林施業プランナーの数	人	28	H28	37	43	45	51	113%	達成	50	53	106%	達成	R2	森林施業プランナーを目指す林業事業者の職員等を対象に、施業の低コスト化や森林経営計画の作成方法などを習得する研修会を開催し、目標は達成。	
115	林業士数(指導林業士+青年林業士)	人	51	H28	58	65	66	71	108%	達成	71	82	115%	達成	R2	指導林業士及び青年林業士の養成研修を行い、目標は達成。	
<b>②木材生産・加工</b>																	
116	再造林率	%	33	H27	44	53	85	64	75%	遅れ・未達成	100	102	102%	達成	R2	国補助事業へのやまがた緑環境税及び一般財源による嵩上げとあわせて、民間事業者で構成する山形県再造林推進機構の基金により、再造林経費に対する100%の支援を行い、目標は達成。	
117	再造林を支援する基金制度の創設	—	—	—	制度創設	制度運用	制度運用	制度運用	—	達成	制度運用	制度運用	—	達成	R2	平成29年度に森林組合、木材生産事業者、原木市場、製材事業者からの協力を財源とした再造林を支援する基金制度を創設し、平成30年度から国・県の90%補助に基金からの10%補助を加えた支援制度を開始し、目標は達成。	
118	高性能林業機械保有台数	台	82	H26	129	154	143	191	134%	達成	150	未公表		150	R2	森林組合等事業者の素材生産体制の強化を図るため、事業者の高性能林業機械等の導入やレンタル経費を支援し、目標は達成の見込み。	
119	林内路網整備	km	117	H27	113	117	152	123	81%	概ね達成	152	98	64%	遅れ・未達成	R2	県・市町村による林道等、森林組合等による森林作業道の整備が進められているが、事業主体に費用負担が発生することや森林境界の不明瞭等により、目標は未達成。	

No.	目標指標	単位	現状	(年)	H29年	H30年	R1年				R2年				目標	(年)	R2年の概況 (達成・未達成の理由)
					実績	実績	目標	実績	達成率	達成度	目標	実績	達成率	達成度			
120	森林管理認証の取得団体数(累計)	件	—	—	2	2	4	2	50%	遅れ・未達成	5	2	40%	遅れ・未達成	5	R2	選手村ビレッジプラザへの県産木材(森林管理認証材)の供給を実施し、森林管理認証制度の普及、PR活動を行ったが、認証材のニーズが伸び悩んでおり、目標は未達成。
121	JAS製品出荷量	千㎡	28	H27	60	77	82	78	95%	概ね達成	85	79	93%	概ね達成	85	R2	「やまがたの木」認証材の品質の向上と、公共建築物などの建築部材として利用される県産製材品の生産促進及び供給体制を図るため、県内の製材所による、品質証明である製材JASの認定取得経費の支援を実施し、目標は概ね達成。
③木材利用																	
122	公共施設の木造化率	%	66	H27	54	53	100	56	56%	遅れ・未達成	100	60	60%	遅れ・未達成	100	R2	関係各課で構成する公共施設等県産木材利用推進幹事を開催し、公共施設での木材利用を協議したものの、経済性や耐久性などの理由で非木造となる場合もあり、目標は未達成。
123	民間施設(産業用建築物)の木造化率	%	43	H27	41	38	55	37	67%	遅れ・未達成	55	39	71%	遅れ・未達成	55	R2	県産木材を使用する店舗・事務所等の新築民間施設への補助金の交付や、県産木材を利用した特色ある民間施設の顕彰など、民間施設の木造化を推進したものの、経済性や施工性などの理由で非木造となるなど、目標は未達成。
124	推進体制の設立	—	—	—	設立	運営	運営	運営	—	達成	運営	運営	—	達成	運営	R2	林工連携の推進体制として、平成29年度に「山形県林工連携コンソーシアム」を設立するとともに、林工連携コンソーシアムの運営委員会並びに総会及び研修会を開催しており、目標は達成。
125	林工連携による新製品開発件数(H29～32の累計)	件	—	—	3	6	5	7	140%	達成	7	8	114%	達成	7	R2	中小企業スーパーサポート補助金(やまがた産業技術振興基金)による支援、研究会等コンソーシアム事業や中小企業支援事業等により、新技術・製品の開発を促進しており、目標は達成。
④特用林産																	
126	山菜・きのこの産出額	億円	63	H26	66	63	72	57	79%	遅れ・未達成	74	未公表			74	R2	生産基盤整備の支援、生産者研修会、生産者への栽培技術指導など、山菜・きのこの生産振興を図ったものの、多くのキノコ類価格は下落傾向にあることや産地間競争の激化により、目標は未達成の見込み。
基本戦略7 水産業のさらなる振興																	
127	水産業による産出額	億円	35	H26	32.4	28	43.3	25.8	60%	遅れ・未達成	45	31.5	70%	遅れ・未達成	45	R2	海面漁業・養殖業では、スルメイカ資源の全国的な減少やコロナ禍による需要の停滞がみられ、内水面漁業でも水害や外来魚等の被害などにより漁獲量が減少しているため、目標は未達成。
①海面漁業																	
128	漁業の新規就業者数(4年間の累計)	人	51	H24～27	6	11	50	19	38%	遅れ・未達成	70	24	34%	遅れ・未達成	70	H29～R2	漁業研修生(2名)の漁業準備研修や漁業研修に向けた体験漁業を実施した。また、独立就業の希望者2名に2隻の漁船取得支援を実施する等、5名の新規漁業就業者を確保したものの目標は未達成。
129	トップランナー(漁業所得400万円以上の経営体)数	経営体	23	H27	28	19	38	25	66%	遅れ・未達成	43	未公表			43	R2	生産基盤となる漁船の取得(イカ釣り2隻)、漁具等の整備(底びき4隻)を支援したが、漁獲量が減少しているため、目標は未達成。
130	漁業試験調査船「最上丸」新船建造	—	25年経過	H28	基本設計	着工	竣工	竣工	—	達成	—	—	—	達成	竣工	R1	令和元年10月21日に竣工、調査を開始しており、目標は達成。
131	海面漁業・養殖業生産額	億円	24	H26	25	22	32	20	63%	遅れ・未達成	33	未公表			33	R2	鮮度保持技術の開発等による高付加価値化や、「庄内おばこサワラ」や「庄内北前ガニ」など観光と連携した庄内浜水産物のPRを実施してきたが、新型コロナウイルスの影響により観光需要が落ち込み、魚価が上がらず、目標は未達成の見込み。
132	水産物平均単価	円/kg	450	H27	564	557	560	581	104%	達成	590	526	89%	概ね達成	590	R2	県内陸部飲食店でのおさかなキャンペーンによる県内消費者への水産物のPR、観光キャンペーンと連携したブランド魚種(庄内北前ガニ、庄内おばこサワラ、天然とらふぐ)のPRにより、目標は概ね達成。
133	「庄内おばこサワラ」の平均単価	円/kg	1,450	H27	2,207	2,040	1,890	1,677	89%	概ね達成	2,000	1,522	76%	遅れ・未達成	2,000	R2	新型コロナウイルスの影響により首都圏飲食店及び県内飲食店の需要が減少したため、目標は未達成。
134	県内内陸部における庄内浜水産物の流通比率	%	10.5	H25～28の平均	7.1	6.5	14.0	6.3	45%	遅れ・未達成	15.0	6.3	42%	遅れ・未達成	15.0	R2	認知度向上・消費拡大を図るため、内陸地域で庄内浜の水産物を積極的に扱う「やまがた庄内浜の魚店探検」等でプロモーションを実施したものの、新型コロナウイルスの影響で外食需要が減少したため、目標は未達成。
135	低利用魚の平均単価	円/kg	270	H27	256	271	330	271	82%	概ね達成	350	282	81%	概ね達成	350	R2	加工品開発に向けた「おいしい魚加工支援ラボ」の活用とコーディネーターによる漁業者の事業展開への支援、漁協直売所での積極的な販売の取組みに加え、量販店での低利用魚(カナガシラ、アカラ、ウマズラ、ニギス等)の取扱いがあったことから、目標は概ね達成。
②内水面漁業																	
136	内水面漁業生産額	億円	8.3	H26	7.3	6.2	9.0	4.5	50%	遅れ・未達成	9.2	未公表			9.2	R2	外来魚等の被害対策や、漁協組合員、遊漁者増加対策の支援等を実施するとともに、水面養殖振興のためニジサクラのブランド化、普及のための取組みを実施してきたものの、目標は未達成の見込み。
137	県内水面漁協の遊漁証枚数(単協分)	枚	12,310	H27	13,669	10,323	16,000	11,292	71%	遅れ・未達成	17,000	9,626	57%	遅れ・未達成	17,000	R2	ダム上流域の新規アユ漁場を活用し、取組み事例が少ないアユのルアー釣り教室を2か所で実施してきたものの、新型コロナウイルスの影響や令和2年7月豪雨の影響により県外遊漁者が減少したことにより、目標は未達成。
138	オリジナル大型ブランドマスの養殖取組民間生産者数	経営体	2	H28	3	5	5	5	100%	達成	5	6	120%	達成	5	R2	内水面水産研究所による養殖業者への働きかけや県内外メディアを活用したPRにより、ニジサクラに興味を持ち、養殖を希望する業者が増えたことから、目標は達成。